

(案)

資料3-5

令和 年 月 日

羽曳野市長 山入端 創 様

羽曳野市総合基本計画等審議会  
会 長 吉川 耕司

第3期羽曳野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について（答申）

令和7年7月6日付け羽政政第558号で諮問のありました第3期羽曳野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について、当審議会では慎重に審議を重ねてきた結果、別添のとおり答申いたします。

なお、下記に付した意見を踏まえ、まちの将来像となる「魅力が息づき 未来を築くまち 羽曳野 ～みんなの想いがカタチになる どんどん良くなるまち～」の実現に向け、適切に各施策を進めていただくことを要望いたします。

記

1. 国の地方創生2.0基本構想が掲げる「強い」経済と、「豊かな」生活環境で、「新しい日本・楽しい日本」の実現という視点を持ち、市民をはじめ、産業界・関係行政機関・教育機関・金融機関・労働団体等の幅広い連携と協力のもと、人口規模が縮小しても経済成長し、持続可能で魅力あるまちの実現に向けて取り組むことを望みます。
2. 多様な主体とのパートナーシップの推進、AI等のデジタル技術の活用・DXの推進といった「横断的な視点」について十分留意し、各施策を推進されることを望みます。
3. まち・ひと・しごと創生総合戦略と関連する基本計画の策定にあたっては、施策の進捗度合いを量ることのできる成果指標を設定し、継続的な進行管理を行うとともに、その結果を定期的に市民に周知し、市政の改善につなげられることを望みます。